

事業名：WHO西太平洋地域事務局内における新興再興感染症の臨床マネージメントと感染管理向上
実施主体：国立国際医療研究センター 国際感染症センター
対象国：フィリピン
対象医療技術等：日本で培われてきた新興再興感染症の臨床マネージメントや感染管理の医療技術

事業の背景

- WPRO域内では新興再興感染症のキャパシティが不十分な国が多く、近年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大が世界中で継続している
- アウトブレイクの要因の1つとして、域内での臨床マネージメントや感染管理の不十分が指摘されている。
- 一方、日本では培われてきた臨床マネージメントや感染管理の医療技術がある。

事業の目的

- 日本でこれまで培ってきたCOVID-19などの新興再興感染症の臨床マネージメントや感染管理の医療技術を国際展開し、主にWPRO域内における新興再興感染症の臨床マネージメント、感染管理のキャパシティ向上、人材育成、アウトブレイク対策などを改善させる。

実施体制

WHO西太平洋地域事務局内の
保健省、カントリーオフィス、
現地医療機関等

専門家派遣・オンライン講習会

- ・政策提言
- ・制度の改善
- ・構築の提案
- ・人材育成
- ・アウトブレイク対応

直接およびオンラインで実施

国立国際医療研究センター
(東京都、新宿区)

連携

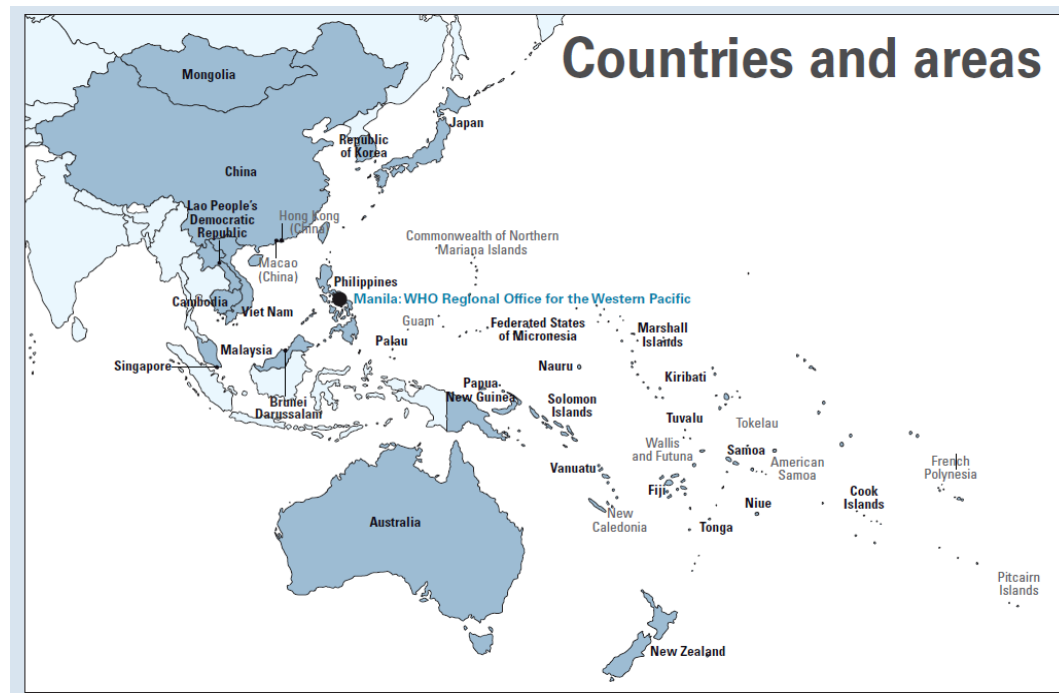
WHO西太平洋地域事務局
(フィリピン、マニラ)

専門家派遣・オンライン講習会

- ・政策提言
- ・制度の改善
- ・構築の提案
- ・人材育成
- ・アウトブレイク対応

研修目標

- ・ WPRO域内において、WHOレベル、国レベル（保健省）、医療施設レベル、それぞれのレベルにおいて、日本で培われた新興再興の臨床マネジメントや感染管理の医療技術を用いて、研修会や現場評価を通じて、アウトブレイク対策や人材育成を行う。
- ・ さらに、成果等を提言に含んだレポートとして少なくとも1回はWHOや国レベルに報告する。



WHO西太平洋地域事務局（WPRO）は、フィリピン、マニラに位置し、日本、中国などのアジア太平洋地域を管轄するWHOの地域事務局で、主に域内の人々の健康を実現することを目的に活動を行っている

1年間の事業内容

2020年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
	セミナー、1日間 WPRO、230名 WHO COVID-19 Clinical Network Knowledge Exchange		研修、2日間 モンゴル感染症センター、20名 COVID-19の臨床：治療指針ならびに院内感染管理				セミナー、1日間 WPRO、100名 Atypical/extrapulmonary presentations of COVID-19 in children			
	研修、1日間 ベトナム、バックマイ病院、50名 Sharing experiences to treatment and control of COVID-19 epidemic		フォーラム、1日間 WPRO、200名 Overview of WHO CCs' response to COVID-19 in Japan(WHO CC Web forum)				研修、1日間 ラオス政府、20名 Discharge criteria of COVID-19			COVID-19のナショナルガイドラインレビュー WPRO、カンボジア政府、モンゴル政府
			セミナー、1日間 WPRO、100名 Extrapulmonary manifestations and impact of COVID-19			パプアニューギニアにおけるCOVID-19のアウトブレイク対応のサポート（酸素供給のアドバイスなど） パプアニューギニア、20名				

多く事業がCOVID-19に関する活動で、オンラインで実施

主な成果

- WPROと共同でCOVID-19に関するセミナーを4回実施



Extrapulmonary manifestations and impact of COVID-19

WPRO COVID-19 Science and Research Seminars

Hosted by: The Data, Strategy and Innovation Group and IMST Science and Research Sub Pillar
August 27 (Thu) 2020

National Center for Global Health and Medicine
Disease Control and Prevention Center
AMR Clinical Reference Center

Focal point, WHO Collaborating Centre for Prevention, Preparedness and Response to Emerging Infectious Diseases
Masahiro ISHIKANE, M.D, Ph.D.



Masahiro Ishikane

肺外コロナについて



Atypical/extrapulmonary presentations of COVID-19 in children

National Center for Global Health and Medicine, Japan (NCGM)
Disease Control and Prevention Center

Noriko Kinoshita, M.D,

2020.Dec.18WHO/WPRO

小児コロナについて



WP RO EOC



DENNIS, Sophie Harri...



kinoshitanoriko



rd

主な成果

- ベトナム、モンゴル、ラオスにCOVID-19に関するセミナーを実施

Logos: NCGM, Disease Control & Prevention Center, WHO Collaborating Centre for Prevention, Preparedness and Response to Emerging Infectious Diseases, AMR Clinical Reference Center.

**COVID-19の臨床
-治療指針ならびに院内感染管理-**

モンゴル国一次及び二次レベル医療施設従事者のための卒後研修強化プロジェクト

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター
国際感染症センター/WHO協力センター
AMR臨床リファレンスセンター
石金正裕

Logos: Japan, Mongolia.

Logos: NCGM, Disease Control & Prevention Center, WHO Collaborating Centre for Prevention, Preparedness and Response to Emerging Infectious Diseases, AMR Clinical Reference Center.

**COVID-19 эмнэл зүй
-Эмчилгээний арга зүй
эмнэлгийн дотоод халдварын
менежмент-**

Анхан ба хоёр дахь шатлалын эмнэлгийн мэргэжилтний төгсөлтийн дараах сургалтыг сайжруулах төсөл

Японы олон улсын эмчилгээ судалгааны төв
Олон улсын халдварт өвчин судлалын төв/ДЭМБ
AMR эмнэл зүйн лавлах төв
Масахиро Ишиканэ

Logos: Japan, Mongolia.



モンゴル感染症センターにCOVID-19の治療指針ならびに院内感染管理の研修

主な成果

- カンボジア、モンゴルの

COVID-19のナショナルガイドラインのレビュー

KINGDOM OF CAMBODIA
NATION RELIGION KING



MINISTRY OF HEALTH

Diagnosis and Treatment Protocol for COVID-19 in
Cambodia

31 December 2020

VERSION 3.3

カンボジアのガイドライン

ORDER OF THE MINISTER OF HEALTH OF MONGOLIA

February 05, 2021

No. A/40

Ulaanbaatar city

Approval of updated interim instructions on
diagnosis and treatment of coronavirus infection

In accordance with Clause 24.2 of Article 24 of the Cabinet Law of Mongolia, Clauses 8.1.1 and 8.1.3 of Article 8 and Clause 36.1 of Article 36 of the Law on Health, and Clause 9.1 of Article 9 of the Law to Prevent, Fight and Mitigate Socio-Economic Impact of the Pandemic of Coronavirus Disease (COVID-19) it is ORDERED hereby:

1. To endorse interim instructions on diagnosis and treatment of coronavirus infection (COVID-19) as set in Annex.
2. To designate heads and directors of aimag and capital city health departments and hospitals at all levels to ensure the implementation of this Order and the preparedness of health services.
3. To assign Department of Medical Service Policy and Implementation, Clinical Advisory Team (B. Buyantogtokh), National Center for Communicable Diseases (D. Naranzul), Professional Advisory Sub-Committee on Intensive Care (M. Naranpurev), Professional Advisory Sub-Committee on Emergency Care (L. Ganbold), Professional Advisory Sub-Committee on Communicable Diseases and Epidemiology (G. Surenkhand) and Professional Advisory Sub-Committee on Internal Medicine (Ts. Sarantuya) to provide technical support in implementation of this Order.
4. To appoint Department of Health Sector Economic Policy Implementation (D. Narantuya) to build a stockpile of medicines, medical supplies and equipment and provide support necessary for the implementation of this Order.
5. To designate Department of Monitoring and Evaluation (D. Gantsetseg) to oversee the implementation of this Order.
6. To revoke Annex 1 of the Order of the Minister of Health No. A/562 of 2020 in connection with the approval of this Order.

MINISTER

S.ENKHBOLD

モンゴルのガイドライン

今年度の成果指標とその結果

	アウトプット指標	アウトカム指標	インパクト指標
実施前の計画	①国際政府会議に直接およびオンラインで参加し、約50名を対象に臨床マネージメントと感染管理について提言を実施。 ②バックマイ病院（ハノイ、ベトナム）において、感染症専門医、感染管理看護師などを中心として医療従事者約100名に感染管理の技術指導を直接およびオンラインで実施。	①新興再興感染症の臨床マネージメントや感染管理の改善のための提言を含んだレポートをWHO、国（保健省）、医療機関レベルに少なくとも年に1回提出する。	①WHO、国（保健省）、医療施設レベルにおける新興再興感染症の臨床マネージメント、感染管理、抗菌薬適正使用のキャパシティ・ビルディング向上が期待される。 ②さらに、整備不十分な臨床マネージメント、感染管理、抗菌薬適正使用のガイドラインの策定も期待される。
実施後の結果	①WPROや各国とのウェブセミナー・研修を通じて、<u>700名以上の</u>医療従事者を対象に、主にCOVID-19の臨床マネージメントと感染管理について提言を実施した。 ②バックマイ病院（ベトナム）やモンゴル感染症センターの感染症専門医、感染管理看護師などを中心とする医療従事者<u>約100名</u>に感染管理の技術指導を直接およびオンラインで実施した。	①新興再興感染症の臨床マネージメントや感染管理の改善のための提言を含んだレポートをWHO、国（保健省）、医療機関レベルに<u>計9回以上</u>提出した。 ②モンゴルとカンボジア政府における<u>COVID-19のナショナル臨床ガイドラインのレビュー</u>を行った。	①WHO、国（保健省）レベル、医療施設レベルにおける新興再興感染症、特にCOVID-19の臨床マネージメント、感染管理のキャパシティ・ビルディング向上が期待された。 ・さらに、整備不十分な<u>COVID-19の臨床マネージメント、感染管理のガイドラインの策定</u>も期待された。

今年度の相手国への事業インパクト

医療技術・機器の国際展開における事業インパクト

- 事業で紹介・導入し、国家計画／ガイドラインに採択された医療技術の数
 - ・ カンボジア、ラオス、モンゴルにおけるCOVID-19のナショナル診療ガイドラインについて、主に酸素飽和度測定モニターの使用方法、デキサメタゾンの使用方法、patient care pass ways、感染隔離解除基準について改訂を提言し、2021年3月時点で改訂中である

健康向上における事業インパクト

- 事業で育成した保健医療従事者（延べ数）：**740名**
 - ・ 遠隔システムを用いた講義・実習・セミナーを受けた研修生の合計数：740名
 - ・ WPROとの共同セミナー：計4回、630名
 - ・ バックマイ病院（ベトナム）：1回、50名
 - ・ モンゴル感染症センター：1回、20名
 - ・ ラオス政府：1回、20名
 - ・ パプアニューギニア：1回、20名

2020年度の成果

- 2020年度はCOVID-19の影響で渡航困難となりオンラインでの研修が主な活動になったが、一方でオンラインでの研修や教育の方法を確立することが可能となった。
- 2020年度に行ったオンラインでの研修会
 - WPROとの共同セミナー、4回
 - バックマイ病院（ベトナム）、1回
 - モンゴル感染症センター、1回
 - ラオス政府、1回
- 特に、医療資源が限られている国や地域におけるCOVID-19の具体的なニーズ（デキサメタゾンの使用方法や隔離解除基準など）についても明らかとなった
- また、パプアニューギニアにおいてはCOVID-19のアウトブレイク対応の遠隔サポートも実施できた

今後の課題

- COVID-19の臨床マネジメントや感染管理のキャパシティ向上、人材育成、アウトブレイク対策の改善に寄与したと考えられたが、これらの地域における感染症対策は日本と比べると不十分であり、継続的な日本の医療技術の展開が必要と考えられる。
- 今後は治療や感染管理だけではなく、ワクチンに関するニーズも予想される。
- 対象国の感染症分野における公衆衛生・医療水準の向上に貢献できるよう、オンラインもしくはオンサイトで医療技術の展開を行っていきたい。

展開推進事業としての将来の事業計画

1. 対象地域・国における感染症分野の公衆衛生・医療水準の向上

- 本事業は、WHO西太平洋地域内における新興再興感染症、特にCOVID-19の臨床マネジメントや感染管理のキャパシティ向上、人材育成、アウトブレイク対策の改善に寄与したと考えられた。
- しかし、これらの地域における感染症対策は日本と比べると不十分であり、継続的な日本の医療技術の展開が必要と考えられる。
- 実際に、2021年3月以降もWHO西太平洋地域事務局からの依頼で、カンボジア、ラオス、モンゴルにおけるCOVID-19の臨床マネジメントや感染管理（特に隔離解除のタイミング）の改善のためのオンライン講習会（主に政府や主要医療機関対象）や、**各国のCOVID-19のナショナルガイドラインの評価・改善の依頼**が来ている。
- 今後も、日本で培ってきたCOVID-19などの新興再興感染症の臨床マネジメントや感染管理の医療技術を研修や教育を通じて国際展開し、各国のガイドライン策定や改訂に貢献し、**対象国の感染症分野における公衆衛生・医療水準の向上**に貢献できるように努めたい。